

## 積算内訳書の作成等にあたっての取扱い

飛騨市の建設工事等の入札時における積算内訳書につきまして、平成27年4月より、下記のとおり取り扱いますのでご注意ください。

### ◇積算内訳書提出対象基準額の引き下げ

公共工事の入札及び契約の適正化の促進に関する法律の改正に則り、提出の対象となる基準額を拡大します。

- ・建設工事：予定価格 2,000 万円以上 → **金額にかかわらず入札（見積入札を含む）を執行する全ての建設工事**
- ・委託業務：予定価格 1,000 万円以上

### ◇入札書及び積算内訳書の作成等にあたっての留意事項

入札書及び積算内訳書の作成等にあたっては、下記の留意事項を厳守してください。

- ・積算内訳書の様式は、原則として、市が提示する本工事費内訳表とすること。または設計書を元とした、任意の様式で作成すること。
- ・積算内訳書に「工事名」「工事番号」「会社名」を明記すること。
- ・積算内訳書の提出について、これを書換え、引替え又は撤回をすることができないこと。
- ・積算内訳書の内容について、市から説明を求める場合があること。
- ・**下記の必須条件が欠けた場合は、当該入札を無効とすることがあります。**

- ① 内訳書の税抜き合計金額と入札額が一致していること。
  - ・内訳書の税抜き合計金額（工事価格）と入札書記載の入札金額が一致していること。ただし、千円未満の端数処理は除く。
- ②記載すべき項目を満たしていること。
  - ・当該工事の工事番号、工事名及び会社名が記載されていること。
- ② 一括値引きがないこと。
  - ・内訳書税抜き合計金額（工事価格）算出の際に、一括して値引きをしていないこと。（各項目で値引き・調整されているものは可とする。）
- ④その他、内訳書として不備がないこと。
  - ・直接工事費、共通仮設費、現場管理費及び一般管理費の計が、内訳書税抜き合計金額（工事価格）と一致していること。

### ◇適用

- ・適用日 平成27年4月1日

※ その他、不明な点については、入札書提出前に担当課にお問い合わせください。

適用日 2015.4.1

※ (参 考)

◇内訳書記載例 (本工事費まで記載する)

市の様式を使用する場合の例

工事番号	〇〇〇-〇号	〇〇〇〇事業 〇〇〇〇工事 <del>仕様書</del> →内訳書に変更			
年度	平成〇〇年度	飛騨市〇〇町〇〇地内			
事業概要	施工延長 L=〇〇m 〇〇工 N=一式	設計年月日	平成	年	月 日
		施工方法	請負		
		施工期間			
		起工年月日			
		竣工年月日			
		歩係適用年月日			
単価適用年月日					
起工理由	会社名を記入				

○独自様式を使用する場合も、いずれかに工事番号、工事名、会社名は必ず記載ください。

◇一括値引きについて

本工事費内訳表

名 称	数量	単位	単価	金額	
排水工	1	式		855,000	値引き調整○
U型側溝	1	式		445,000	" ○
直接工事費計 ①	1	式		5,000,000	一括値引き調整は×
共通仮説費計 ②	1	式		2,500,000	値引き調整○
現場管理費計 ③	1	式		2,500,000	値引き調整○
一般管理費計 ④	1	式		913,500	値引き調整○
合計 (①+②+③+④)	1	式		10,913,500	工事価格
値引き	1	式		-13,500	ここで値引き調整×
工事価格	1	式		10,913,000	千円未満の端数処理は ○ 以下、下記例による

◇ 端数調整・処理について (例)

(単位：円)

本工事費内訳表合計	入札(見積)書	記載額
10,913,500	10,913,000	○
	10,913,500	○
	10,914,000	○
	10,900,000	×
	10,920,000	×
	11,000,000	×